

8月24日（水） 知事会見

「BA.5対策強化宣言」を発出します

直近1週間の新規陽性者数の推移 (R4.1~)

陽性者数が過去最多を更新。療養者数は2万人を超え、過去に例のない極めて深刻な感染状況

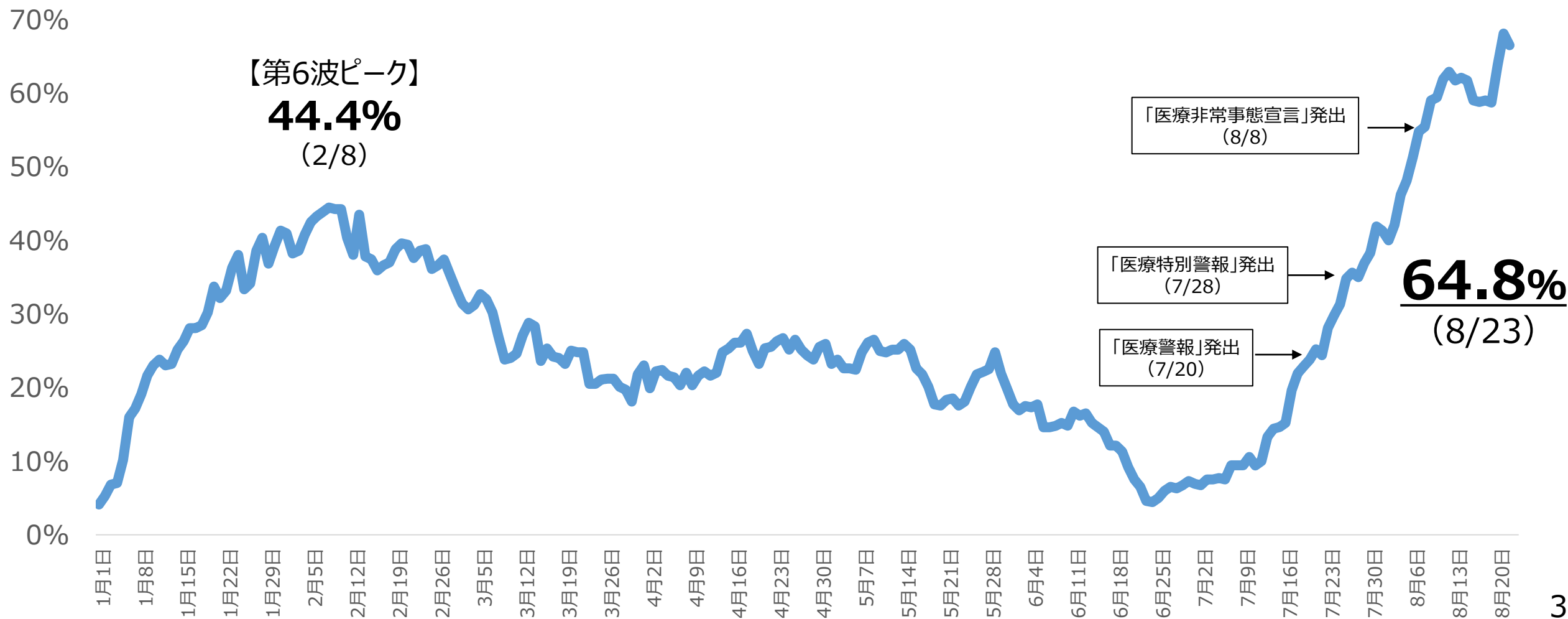


* 新規陽性者数は発生届受理日ベース 2

確保病床使用率の推移 (R4.1~)

「医療非常事態宣言」発出後も確保病床使用率は上昇し、8/21には過去最高の68.1%を記録。その後も高い水準で推移しており、身近な地域の医療機関に入院できないケースも発生

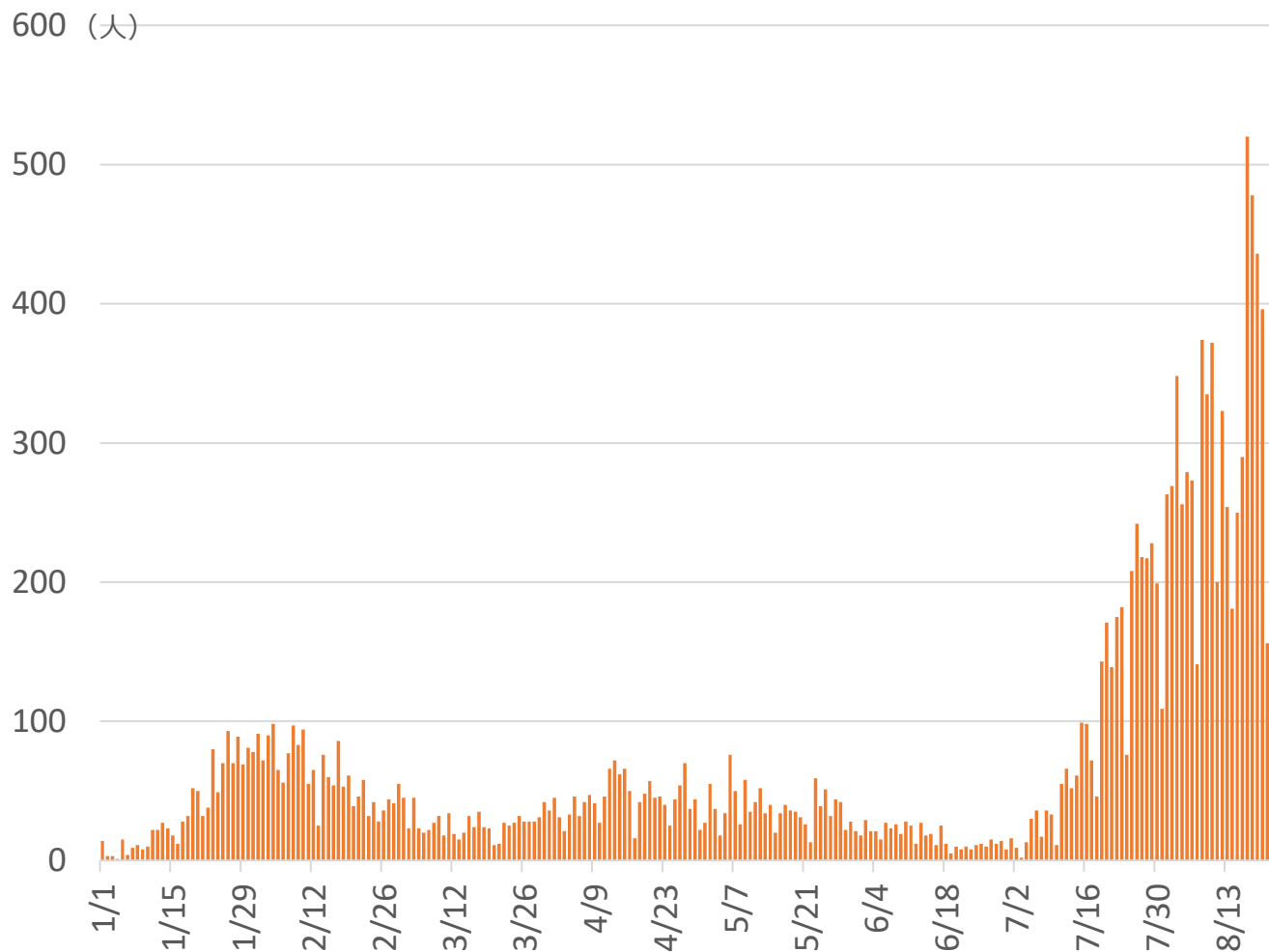
8/23 (火) 20:00現在



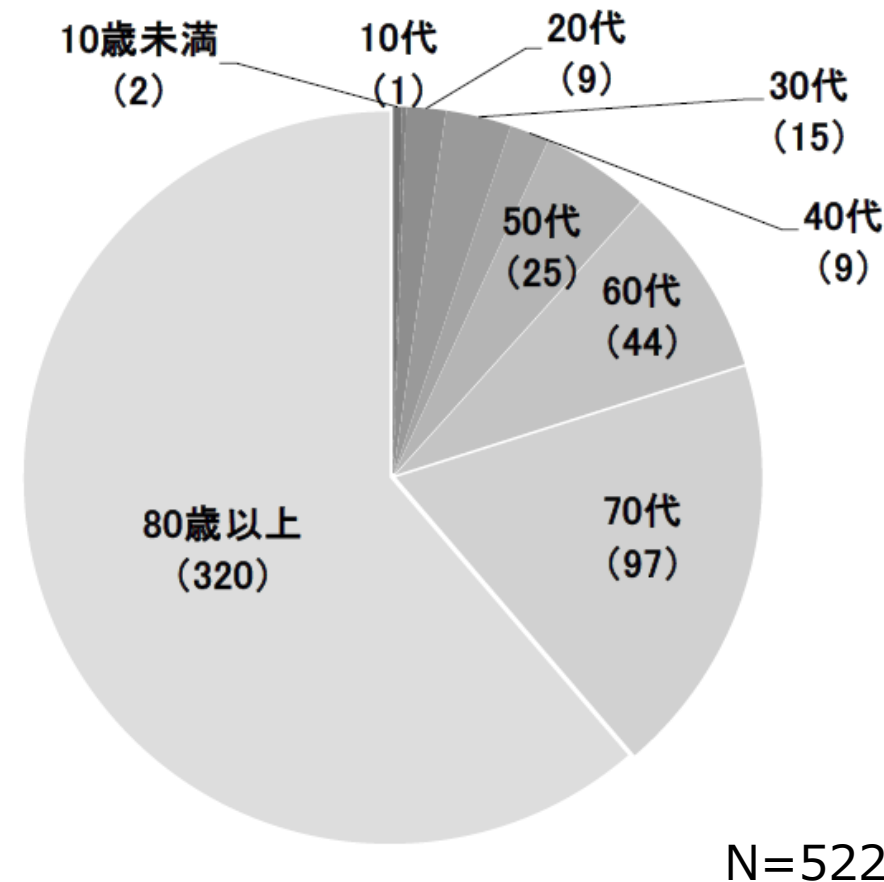
高齢者（65歳以上）の新規陽性者数の推移と入院者の年代

65歳以上の陽性者がこれまでにない規模で発生。入院者全体の84.9%（443例）を占める

8/23（火）20:00現在



65歳以上の新規陽性者数の推移

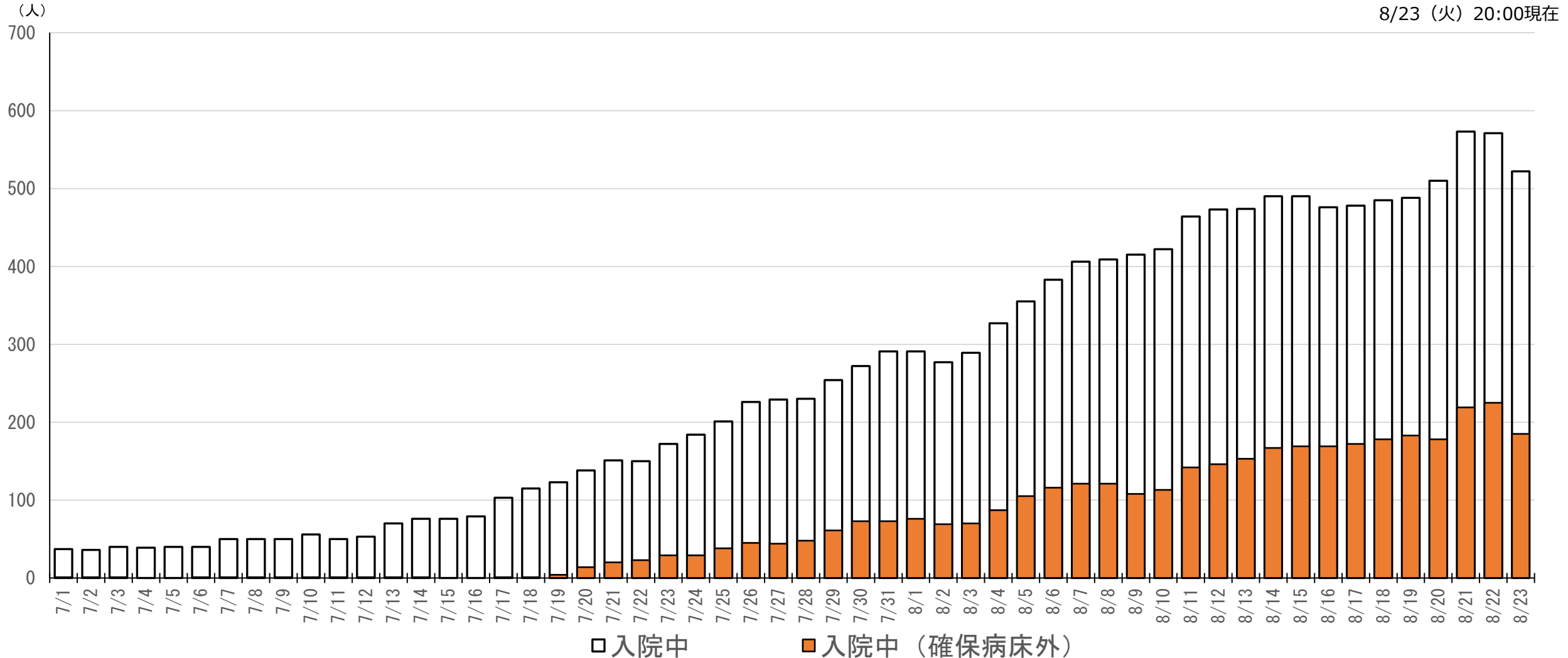


入院者の年代

N=522

入院の状況

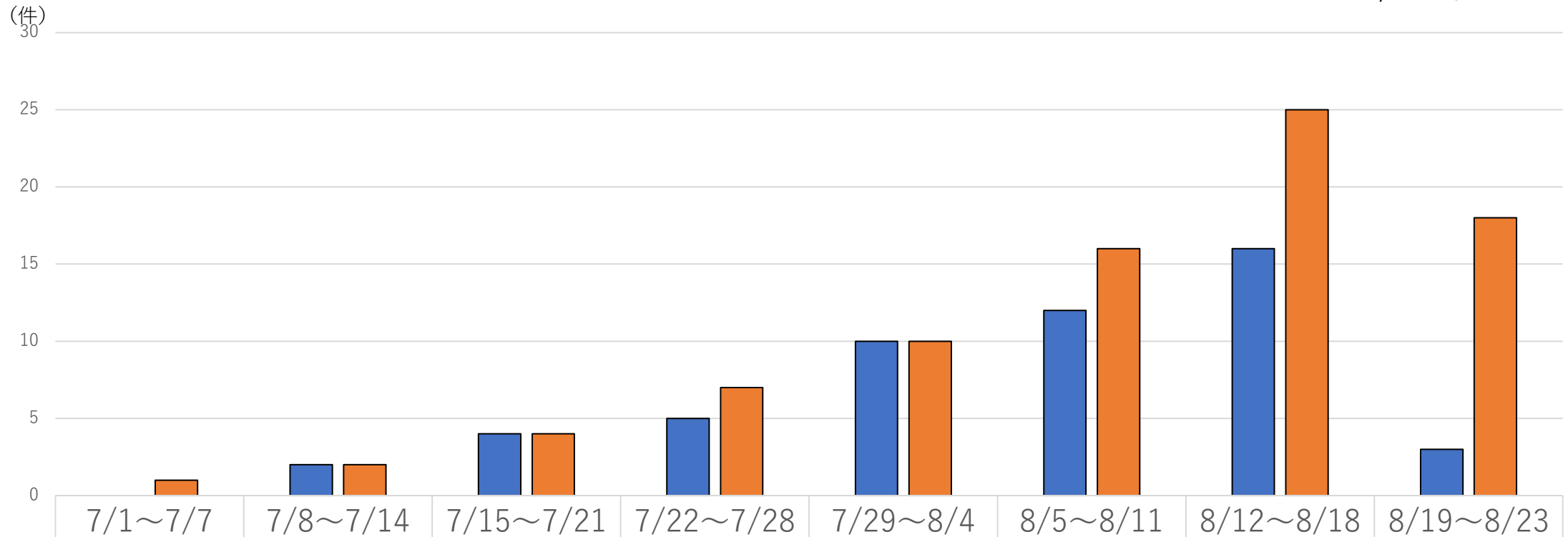
昨日時点で入院者の4割近く（185人）が確保病床外に入院しており、医療機関への負荷は深刻



高齢者施設・医療機関における集団的感染の発生状況

7月中旬以降、医療機関・高齢者施設での集団的感染が増加し、感染や濃厚接触により医療スタッフの欠勤が増えているほか、介護が必要な高齢者が入院するケースが増えており、一部医療機関では患者の受入れを制約せざるを得なくなるなど、本県の医療提供体制はひっ迫した状況

8/23（火）20:00現在



■ 医療機関
■ 高齢者施設

現状認識

今がまさに「救える命を救うことができない事態」を避けるための正念場

- 新規陽性者数が過去最多を更新、8/18には1日3,649人を確認、療養者数は2万人を超え、過去に例のない極めて深刻な感染状況
- 昨日時点の確保病床使用率は64.8%（337人／520床）まで上昇、身近な地域の医療機関に入院できないケースも発生、確保病床以外の入院者も185人
- 感染や濃厚接触で医療スタッフの欠勤が増加、加えて高齢者施設での集団的感染の継続により、介護が必要な高齢者が入院するケースも増加。一部の医療機関では、患者の受入れを制約せざるを得なくなるなど、本県の医療提供体制はひっ迫した状態
- 全国的には、一部の地域で新規陽性者数はピークを越えつつあるとの予測もあるが、医療提供体制への負荷は新規陽性者数のピークから遅れて増大

このため、「医療非常事態宣言」に加え、

全県に「BA.5対策強化宣言」を発出します

期間

本日8/24（水）～9/4（日）

目標

**「確保病床使用率」と「新規陽性者数」を
減少に転じさせる**

「BA.5対策強化宣言」発出にあたってのお願い

- ◆ 8月8日の「医療非常事態宣言」発出後も確保病床使用率が上昇しており、身近な地域の医療機関に入院できないケースも発生しています。
- ◆ 感染や陽性者との濃厚接触による医療スタッフの欠勤が増加しているほか、高齢者施設における集団的感染の発生の継続により、介護が必要な高齢者が入院するケースが増加しており、一部の医療機関では、患者の受入れを制約せざるを得ない状況です。

⇒ **本県の医療提供体制はひっ迫した状態です。**
医療の負荷を下げ、真に医療が必要な方（新型コロナ以外も含めて）**を守ることにご協力をお願いいたします。**

今がまさに、「救える命を救うことができない事態」を避けるための正念場です。このため、本日全県に「**BA.5対策強化宣言**」（**9月4日まで**）を発出します。

1 「これ以上入院患者を増やさない」ことにご協力ください

- 重症化リスクが高い方及びその同居者・身近で接する方は、感染リスクが高い場面・場所を避け、最大限慎重な行動をお願いします。
- 重症化リスクが高い方は4回目までのワクチン接種を、同居のご家族は3回目までのワクチン接種の積極的検討をお願いします。

2 「外来診療の負担軽減」にご協力ください

- 重症化リスクが低い方も感染リスクが高い場面をできるだけ避け、感染しない、させないよう、改めて基本に立ち返り、感染防止対策の徹底をお願いします。また、軽症の場合にはあわてて医療機関を受診しないでください。
- 20～40代の方は、若年輕症者登録センターを積極的に活用してください。
- 医療機関を受診する場合にもできるだけ検査キットで自己検査をお願いします。
- 休日夜間の受診はできるだけ控えてください。救急外来及び救急車の利用は、真に必要な場合としてください。
- 重症化リスクが低い方も感染拡大防止の観点からワクチン接種の検討をお願いします。

3 事業者の皆様へのお願い

- 事業所においては、休みやすい環境づくりやリモートワークの活用など、感染拡大防止に最大限のご協力をお願いします。
- イベントの開催にあたっては、人と人との間隔の確保、屋内での換気、飲食を伴う場合は飲食店に求められる感染防止策等を踏まえた十分な対策を行うことなどの感染対策を改めて徹底してください。なお、十分な対策が困難な場合には、中止又は延期の検討をお願いします。

(重症化リスクが低く、かつ、症状が軽い方へ)

まずは検査キットによる自己検査をご検討ください。

陽性の場合 20代～40代の方は、若年輕症者登録センター
にオンラインで登録してください。その他の年代の方は、
平日の昼間にかかりつけ医等へ相談の上、受診をお願いします。



若年輕症者
登録センター

陰性の場合 偽陰性の可能性もあるので、症状がある間はできるだけ
仕事を休むなど外出を控えてください。症状が軽快しても発症から
1週間程度は他者に感染させないような行動をお願いします。

検査キットが入手できない場合にもあわてて受診するのではなく、症状
に応じて総合感冒薬等を服用して様子を見ていただき、症状が悪化する
等の場合にかかりつけ医等へ相談の上、受診していただくようお願いいたします。

(陽性者の増加を防ぐために)

ワクチン接種は感染拡大の防止につながります。3回目接種率は、50代以上では8割を超えている一方、20、30代は5割、10代は4割ほどです。若い世代やお子様も含めて、ワクチン接種を改めてご検討ください。



体調が少しでも悪い場合には、まずは外出を控えていただくことを徹底してください。

会食、旅行の際は対策の徹底をお願いします。

- ・マスク会食や黙食を行うとともに、大声での会話や長時間のお店の利用を控え、感染対策が十分でない場合には大人数での飲食を避けてください。
- ・感染リスクが高い行動は控えるとともに、訪問先の都道府県等からの呼びかけに沿って行動してください。



⇒ 重症化リスクが高い方及びその同居者・身近で接する方は、特にご注意を

県として次のような対策を講じます

- 1 医療機関に対する診療・検査医療機関、確保病床の拡大依頼**
(当面、10床程度拡大)
- 2 宿泊療養施設の増設**
(6施設目、北信地域、8/26から)
- 3 入所高齢者等が陽性になった場合の施設内での対応力強化**
- 4 入院患者の症状軽快後の施設等での受け入れ円滑化**